

便潜血検査について



便潜血検査とは？

消化管のどこかで出血すると、便の中に血液が混入します(血便)。出血が多い場合には、出血の部位により黒色から暗赤色、鮮紅色の肉眼的に分かる血便となりますが、**出血が少量の場合には、肉眼的な変化に乏しく、便の潜血反応検査を行うことで消化管出血の有無を診断**することができます。

☆以前から行われてきた検査☆

化学的便潜血検査(化学法)は、便中の血液成分による反応を利用した**非特異的血液検出法**です。この方法には肉や魚、緑黄色野菜などを食べると、ある種の薬剤と反応し、偽陽性になりやすいという欠点がありました。



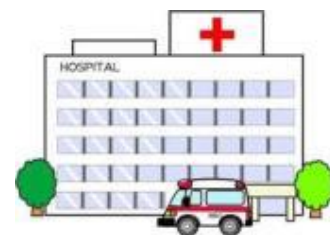
☆最近行われている検査☆

化学法の問題を解消する目的で開発されたのが、食事制限の必要がなく、便中のヒト由来のヘモグロビンに特異的に反応を示す**免疫学的便潜血検査(免疫法)**です。最近ではこの方法が主流で、**大腸がん検診の一次検査や下部消化管疾患スクリーニング(ふるいわけ)法**として用いられています。



便潜血検査で陽性(+)の場合

便潜血検査が陽性となるのは消化管から出血している病変が原因ですが、ポリープやがんの場合は、ある程度の大きさでないと陽性になりません。その他**炎症性の腸疾患や痔、裂肛などの肛門の病気でも陽性**となります。自覚症状がなく、健康診断で発見された大腸がんは治る可能性が高いので、便潜血検査が陽性の場合には、速やかに精密検査を受けてください。精密検査は**大腸内視鏡検査**や**注腸バリウム検査**という方法があります。消化器内科・外科などの大腸の専門施設にて受診することをお勧めします。当院でもスクリーニングとしての大腸内視鏡検査を受診していただくことが可能です。



大腸内視鏡検査

内視鏡を大腸に挿入して、直接腸の中を観察して診断を行います。観察中にポリープを切除したり、病変を採取し、調べることもできます。



注腸バリウム検査

バリウムを大腸に注入し、腸に空気を入れてレントゲン撮影をし、大腸の全体像や微細な病変の診断を行います。

便潜血検査で陰性(-)の場合でも気になる方は…

大腸の病気があっても、出血していなければ陽性とならないこともあります。また出血していたとしても、採便した部位に血がついているとは限りません。早期の大腸がんやポリープでは、出血により便検査が陽性になることは珍しいのです。また、下痢や便秘を繰り返すようになった、今までより便が細くなったなどの自覚症状がある方や、ご家族に大腸がんの既往がある方は、専門施設にて受診することをお勧めします。

大腸がんの予防



もともと日本人には少なかった大腸がんが増えたのは、食生活が肉中心になり、高たんぱく・高脂質になったことに関係があるといわれています。では穀物と野菜だけの食事にすれば大丈夫なのかといえば、その効果が証明されているわけではありません。ただし、太らないことや便秘をしないことは、大腸がん予防の重要な要件です。太っているのは、エネルギーの摂取量が多いことが原因なので、多くの場合、たんぱく質や脂肪分を取りすぎていると考えられます。また便秘になって、便を長く大腸内にとどまらせることは、便が大腸粘膜を刺激し、大きな負担をかけるので、がんになる危険性を高めます。食物繊維の多い野菜(ごぼう、たけのこ、カボチャなど)をしっかり食べ、一日合計で 60 分以上歩くなどの運動することが大腸がんの予防になると考えられるのも、太らず、便秘をしないことにつながるからです。



大腸がん検査の受診をお勧めする方



☆排便の変化

- ・血便(血液が混じった便)がでる
- ・下血(肛門からの出血)が起きる
- ・便が細くなる
- ・便秘と下痢を繰り返す
- ・便が残っている感じがする

☆その他の変化

- ・貧血が起きる
- ・嘔吐(おうと)する
- ・急に体重が落ちてきている
- ・ご家族に大腸がんの既往がある方



☆お腹の変化

- ・お腹が張っていると感じる
- ・腹痛が起こる
- ・お腹にしこりがある



その他、ご不明な点等ございましたら、ご遠慮なくスタッフにお尋ね下さいませ。

医療法人 士正会 健診センター 栄エンゼルクリニック